

より良いまちづくりや学校生活のために 私たちができることはなんだろう?

12月22日、市内4中学校の代表生徒12人が参加し、市教育会館で「中学生未来会議」が開催されました。

市政や郷土、社会の問題などに関心を持ち、社会参画への意識を高めることを



市長(左から3番目)にアドバイスをもらう貴重な機会に、中学生も緊張?

を目的として
市内中学生

を対象に毎年開催しているもので、今回で8回目。会議の様子は全中学校の2年生がオンライン視聴しました。

学校ごとに、まちの活性化・防災・学校生活などに関する課題や提案について発表した後は、大場市長や教育長、教育委員などを交えて意見交換を実施。参加した生徒たちは様々な意見に積極的に耳を傾け、それぞれの課題解決に向けて議論を深めました。



周南中学校は中学生の防災意識向上のため、遊んで学べる防災企画「あそぼうさい」を提案

理系への進学はいかが?

アシスト

12月14日、「研究室訪問@SIST」が実施され、袋井高校1・2年生22人が静岡理工科大学の研究室を訪問しました。

大学や理学学問への関心を深め、進路意識を高めることを目的に、市・大学・高校の三者が連携し年5回実施した事業で、高校生たちは興味がある研究室で教員や大学生と交流し、大学で学ぶ自分をイメージする機会となりました。



大学では本格的な建築模型を作るんだね



先端アートってなんだろう?

今年の五穀豊穡を祈願 表紙

たあそびさい

1月7日、「法多山田遊祭」が行われました。

田遊祭は室町時代から伝わる民俗芸能。国記録選択民俗文化財で、県無形民俗文化財に指定されています。

五穀豊穡を祈願し、法多山田遊祭保存会の会員が1年間の米作りの様子を表現した7段の舞を奉納。その後、大弓放ちの神事を行い、1年の厄払いをしました。



田植えの様子を表現した「ツグメ(早乙女)」の舞

人生の節目を祝福! 「はたちの集い」

1月8日、従来の成人式にあたる「はたちの集い」が開催され、20歳の対象者909人中646人が一堂に会しました。



天候にも恵まれて撮影日和!

過去2年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各中学校区ごとに分散して行われていましたが、今年は3年ぶりにエコパアリーナで開催。

式典では、代表4人が「社会貢献や親孝行をしたい」「社会人としてより精進していきたい」などと力強く述べました。市内外で活躍する先輩市民等からのメッセージの披露や「20年間の歩み振り返りクイズ」なども行われ、みんなで二十歳の門出を祝いました。



クイズには袋井に関する懐かじの話題が話題